

授業計画(シラバス)

| 科目名 | 美容実習 | 指導担当者名 | ①降矢 直美 ②渡辺 拓哉 |
|---------------------------------|---|----------------------------|--|
| 実務経験 | ①美容師実務経験8年 ②美容師実務経験9年 | | 実務経験: ①有 ②有 |
| 開講時期 | 通年 | 対象学科学年 | ヘアメイク研究学科1年 |
| 授業方法 | 講義: | 演習:○ | 実習: 実技: |
| 時間数(通年) | 450時間 | 週時間数 | 9時間 |
| 学習到達目標 | 国家試験の科目でもあるので、国家試験合格を目指し学習する。 美容師になる上で必要な技術・衛生面の知識を習得する。 | | |
| 評価方法 評価基準 | 出席状況、授業態度、提出物、期末テスト等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。 | | |
| 使用教材 | 公益財団法人 理容師美容師試験研修センター「美容師実技試験課題 技術の解説」 | | |
| 授業外学習 の方法 | 授業外での自主練習。 | | |
| 学期 | ターム | 項目 | 内容・準備資料等 |
| 授業 計画 前期 | 1 | ①オールウェーブセッティング ②ワインディング | ①課題の説明・準備・セットローション塗布・ウェーブ・ リッジの作り方を説明・展示・演習 ②全頭巻き(20分で計測) |
| | 2 | ①オールウェーブセッティング ②ワインディング | ①フルウェーブ展示・演習 ②全頭巻き(20分で計測) |
| | 3 | ①オールウェーブセッティング ②ワインディング | ①フルウェーブ演習 ②全頭巻き(20分で計測) |
| | 4 | ①オールウェーブセッティング ②ワインディング | ①1段目スカルプチュアカール、7段目クロッキノールカール 説明・展示・演習 ②全頭巻き(20分で計測) |
| | 5 | ①オールウェーブセッティング ②ワインディング | ①3段目スカルプチュアカール 説明・展示・演習 ②全頭巻き(20分で計測) |
| | 6 | ①オールウェーブセッティング ②ワインディング | ①4・5段目リフトカール、6段目メイポールカール 説明・展示・演習 ②全頭巻き(20分で計測) |
| | 7 | ①オールウェーブセッティング ②ワインディング | ①全頭作成 ②全頭巻き(20分で計測) |
| | 8 | ①オールウェーブセッティング ②ワインディング | ①全頭作成(40分で計測) ②全頭巻き(20分で計測) |
| | 9 | ①オールウェーブセッティング ②ワインディング | ①全頭作成(40分で計測) ②全頭巻き(20分で計測) |
| | 10 | ①オールウェーブセッティング ②ワインディング | ①全頭作成(40分で計測) ②全頭巻き(20分で計測) |
| | 11 | ①オールウェーブセッティング ②ワインディング | ①全頭作成(40分で計測) ②全頭巻き(20分で計測) |
| | 12 | ①オールウェーブセッティング ②ワインディング | ①全頭作成(40分で計測) ②全頭巻き(20分で計測) |
| | 13 | 期末テスト | |
| | 14 | 期末テスト 解説 | 期末テストの問題の解説 |
| | 15 | ①カットting ②オールウェーブセッティング | ①カットウィッグ配布・トップ～前髪～サイドまで説明・展示・演習 ②全頭(35分で計測) |
| | 16 | ①カットting ②オールウェーブセッティング | ②ネーブ～ヘムライン～第3ブロック説明・展示・演習 ②全頭(35分で計測) |
| | 17 | ①カットting ②オールウェーブセッティング | ③第2ブロック～第1ブロック～サイド～チェックカット説明・ 展示・演習 ②全頭(35分で計測) |
| | 18 | ①カットting ②オールウェーブセッティング | ④全頭カット ②全頭(35分で計測) |
| | 19 | ①カットting ②オールウェーブセッティング | ⑤全頭カット ②全頭(35分で計測) |
| | 20 | ①カットting ②オールウェーブセッティング | ⑤全頭カット ②全頭(35分で計測) |
| 履修上の留意点 | | | |
| 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。 | | | |

授業計画(シラバス)

| 科目名 | 美容実習 | 指導担当者名 | ①降矢 直美 ②渡辺 拓哉 |
|---------------------------------|---|-------------------------------|-------------------------------|
| 実務経験 | ①美容師実務経験8年 ②美容師実務経験9年 | | 実務経験: ①有 ②有 |
| 開講時期 | 通年 | 対象学科学年 | ヘアメイク研究学科1年 |
| 授業方法 | 講義: | 演習:○ | 実習: 実技: |
| 時間数(通年) | 450時間 | 週時間数 | 9時間 |
| 学習到達目標 | 国家試験の科目でもあるので、国家試験合格を目指し学習する。 美容師になる上で必要な技術・衛生面の知識を習得する。 | | |
| 評価方法 評価基準 | 出席状況、授業態度、提出物、期末テスト等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。 | | |
| 使用教材 | 公益財団法人 理容師美容師試験研修センター「美容師実技試験課題 技術の解説」 | | |
| 授業外学習 の方法 | 授業外での自主練習。 | | |
| 学期 | ターム | 項目 | 内容・準備資料等 |
| 授業 計画 後 期 | 1 | ①カットting ②オールウェーブ ③ワインディング | ①全頭30分で計測 ②全頭30分で計測 ③全頭20分で計測 |
| | 2 | ①カットting ②オールウェーブ ③ワインディング | ①全頭30分で計測 ②全頭30分で計測 ③全頭20分で計測 |
| | 3 | ①カットting ②オールウェーブ ③ワインディング | ①全頭30分で計測 ②全頭30分で計測 ③全頭20分で計測 |
| | 4 | ①カットting ②オールウェーブ ③ワインディング | ①全頭30分で計測 ②全頭30分で計測 ③全頭20分で計測 |
| | 5 | ①カットting ②オールウェーブ ③ワインディング | ①全頭30分で計測 ②全頭30分で計測 ③全頭20分で計測 |
| | 6 | 国家試験課題 | 国家試験に準ずる |
| | 7 | 国家試験課題 | 国家試験に準ずる |
| | 8 | 国家試験課題 | 国家試験に準ずる |
| | 9 | 国家試験課題 | 国家試験に準ずる |
| | 10 | 期末テスト | |
| | 11 | 期末テスト 解説 | 期末テストの問題の解説 |
| | 12 | 国家試験課題 | 国家試験に準ずる |
| | 13 | 国家試験課題 | 国家試験に準ずる |
| | 14 | 国家試験課題 | 国家試験に準ずる |
| | 15 | 国家試験課題 | 国家試験に準ずる |
| | 16 | 国家試験課題 | 国家試験に準ずる |
| 履修上の留意点 | | | |
| 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。 | | | |

授業計画(シラバス)

| 科目名 | 美容技術理論 | 指導担当者名 | ①降矢 直美 ②渡辺 拓哉 |
|---------------------------------|--|----------------------------|---------------------|
| 実務経験 | ①美容師実務経験8年 ②美容師実務経験9年 | | 実務経験: ①有 ②有 |
| 開講時期 | 後期 | 対象学科学年 | ヘアメイク研究学科1年 |
| 授業方法 | 講義:○ | 演習: | 実習: 実技: |
| 時間数(後期) | 20時間 | 週時間数 | 1時間 |
| 学習到達目標 | 国家試験の科目でもあるので、国家試験合格を目指し学習する。 美容師になる上で道具の知識・技術の理論を習得する。 | | |
| 評価方法 評価基準 | 出席状況、授業態度、提出物、期末テスト等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。 | | |
| 使用教材 | 公益財団法人 日本理容美容教育センター「美容技術理論」 | | |
| 授業外学習 の方法 | テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。 | | |
| 学期 | ターム | 項目 | 内容・準備資料等 |
| 授業 計画 後 期 | 1 | 礼装 着物と季節 | 女子礼装 男子礼装等 |
| | 2 | 着物のいろいろ 帯 | 訪問着 付け下げ 等 |
| | 3 | 小物 着物各部の名称 | 小物の種類等 |
| | 4 | 着物のたたみ方 着付けの一般的要領 | 本たたみ 夜具たたみ等 |
| | 5 | 留袖着付け技術 振袖着付け技術 | 着物の選び方 ひもの位置等 |
| | 6 | 帯締め、帯揚げの結び方 | 帯締めの結び方一例 等 |
| | 7 | 男子礼装羽織、袴着付け技術 羽織のひもの結び方 | 体型補正 着物の着付け等 |
| | 8 | 女子袴着付け技術 婚礼着付けの際の注意事項 | 体型補正 着物の着付け等 |
| | 9 | 男子礼装羽織、袴着付け技術 羽織のひもの結び方 | 体型補正 着物の着付け等 |
| | 10 | 期末テスト対策 練習問題 | プリント準備 |
| | 11 | 期末テスト | |
| | 12 | 国家試験対策 | 過去問題プリント 過去問題の解答・解説 |
| | 13 | 国家試験対策 | 過去問題プリント 過去問題の解答・解説 |
| | 14 | 国家試験対策 | 過去問題プリント 過去問題の解答・解説 |
| | 15 | 国家試験対策 | 過去問題プリント 過去問題の解答・解説 |
| | 16 | 国家試験対策 | 過去問題プリント 過去問題の解答・解説 |
| | 17 | 国家試験対策 | 過去問題プリント 過去問題の解答・解説 |
| | 18 | 国家試験対策 | 過去問題プリント 過去問題の解答・解説 |
| | 19 | 国家試験対策 | 過去問題プリント 過去問題の解答・解説 |
| | 20 | 国家試験対策 | 過去問題プリント 過去問題の解答・解説 |
| 履修上の留意点 | | | |
| 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。 | | | |

授業計画(シラバス)

| 科目名 | 衛生管理 | 指導担当者名 | ①佐々木 美代子 ②渡辺 拓哉 |
|---------------------------------|--|-----------------------------------|------------------------------------|
| 実務経験 | ①美容師実務経験18年 ②美容師実務経験9年 | | 実務経験: ①有 ②有 |
| 開講時期 | 後期 | 対象学科学年 | ヘアメイク研究学科1年 |
| 授業方法 | 講義:○ | 演習: | 実習: 実技: |
| 時間数(後期) | 20時間 | 週時間数 | 1時間 |
| 学習到達目標 | 国家試験の科目でもあるので、国家試験合格を目指し学習する。 美容師になる上で道具の知識・技術の理論を習得する。 | | |
| 評価方法 評価基準 | 出席状況、授業態度、提出物、期末テスト等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。 | | |
| 使用教材 | 公益財団法人 日本理容美容教育センター「衛生管理」 | | |
| 授業外学習 の方法 | テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。 | | |
| 学期 | ターム | 項目 | 内容・準備資料等 |
| 授業 計画 後 期 | 1 | 2節 理容所・美容所の消毒の実際① | 理容所・美容所における消毒の原則 |
| | 2 | 2節 理容所・美容所の消毒の実際② | 理容所・美容所の消毒設備 |
| | 3 | 2節 理容所・美容所の消毒の実際③ | 理容・美容器具類の消毒法 |
| | 4 | 2節 理容所・美容所の消毒の実際④ | 理容師・美容師の手指の消毒 |
| | 5 | 2節 理容所・美容所の消毒の実際⑤ | その他のものの消毒 |
| | 6 | 2節 理容所・美容所の消毒の実際⑥ | 理容所・美容所の消毒の現状 |
| | 7 | 3節 理容所・美容所の清潔法の実際① | ①清潔保持と清掃 ②洗剤による清浄法 ③洗い場の構造と清潔保持 |
| | 8 | 3節 理容所・美容所の清潔法の実際② | ①清掃 ②毛の処理・汚物箱などの消毒 ③ハエやカなどの駆除 |
| | 9 | 5編 衛生管理の実践例 1章 美容所における 衛生管理要領① | 衛生的取扱い等 |
| | 10 | 期末テスト対策 練習問題 | プリント準備 |
| | 11 | 期末テスト | |
| | 12 | 国家試験対策 | 過去問題プリント 過去問題の解答・解説 |
| | 13 | 国家試験対策 | 過去問題プリント 過去問題の解答・解説 |
| | 14 | 国家試験対策 | 過去問題プリント 過去問題の解答・解説 |
| | 15 | 国家試験対策 | 過去問題プリント 過去問題の解答・解説 |
| | 16 | 国家試験対策 | 過去問題プリント 過去問題の解答・解説 |
| | 17 | 国家試験対策 | 過去問題プリント 過去問題の解答・解説 |
| | 18 | 国家試験対策 | 過去問題プリント 過去問題の解答・解説 |
| | 19 | 国家試験対策 | 過去問題プリント 過去問題の解答・解説 |
| | 20 | 国家試験対策 | 過去問題プリント 過去問題の解答・解説 |
| 履修上の留意点 | | | |
| 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。 | | | |

授業計画(シラバス)

| 科目名 | 保健 | 指導担当者名 | ①降矢 直美 ②渡辺 拓哉 |
|---------------------------------|--|--------------------------------|---------------------|
| 実務経験 | ①美容師実務経験8年 ②美容師実務経験9年 | | 実務経験: ①有 ②有 |
| 開講時期 | 後期 | 対象学科学年 | ヘアメイク研究学科1年 |
| 授業方法 | 講義:○ | 演習: | 実習: 実技: |
| 時間数(後期) | 20時間 | 週時間数 | 1時間 |
| 学習到達目標 | 国家試験の科目でもあるので、国家試験合格を目指し学習する。 美容師になる上で道具の知識・技術の理論を習得する。 | | |
| 評価方法 評価基準 | 出席状況、授業態度、提出物、期末テスト等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。 | | |
| 使用教材 | 公益財団法人 日本理容美容教育センター「保健」 | | |
| 授業外学習 の方法 | テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。 | | |
| 学期 | ターム | 項目 | 内容・準備資料等 |
| 授業計画 後期 | 1 | ③皮膚疾患の治療法 ④皮膚炎と湿疹・蕁麻疹・薬疹 | 外科的療法・理学的療法 |
| | 2 | ⑤口唇の疾患 ⑥温熱・寒冷による皮膚障害 | 熱傷・凍傷・凍瘡等 |
| | 3 | ⑦角化異常による皮膚疾患 ⑧色素異常による皮膚疾患 | タコ・ウオノメ・シミ・ソバカス等 |
| | 4 | ⑨血管腫(アカアザ) ⑩脂腺母斑 | 血管腫・脂腺母斑等 |
| | 5 | ⑪下肢静脈瘤 ⑫分泌異常による皮膚疾患 | 下肢静脈瘤・ニキビ・ワキガ等 |
| | 6 | ⑬化膿性による皮膚疾患 ⑭ウイルスによる皮膚疾患 | トビヒ・毛包炎・ヘルペス等 |
| | 7 | ⑮真菌による皮膚疾患 ⑯衛生害虫による皮膚疾患 | 白癬菌・衛生害虫による皮膚疾患等 |
| | 8 | ⑰感染症の皮膚疾患の予防 ⑱毛と爪の疾患 ⑲皮膚の腫瘍 | 白髪・脱毛症・多毛症・爪の異常等 |
| | 9 | 国家試験 対策 | 過去問題プリント 過去問題の解答・解説 |
| | 10 | 期末テスト対策 練習問題 | プリント準備 |
| | 11 | 期末テスト | |
| | 12 | 国家試験対策 | 過去問題プリント 過去問題の解答・解説 |
| | 13 | 国家試験対策 | 過去問題プリント 過去問題の解答・解説 |
| | 14 | 国家試験対策 | 過去問題プリント 過去問題の解答・解説 |
| | 15 | 国家試験対策 | 過去問題プリント 過去問題の解答・解説 |
| | 16 | 国家試験対策 | 過去問題プリント 過去問題の解答・解説 |
| | 17 | 国家試験対策 | 過去問題プリント 過去問題の解答・解説 |
| | 18 | 国家試験対策 | 過去問題プリント 過去問題の解答・解説 |
| | 19 | 国家試験対策 | 過去問題プリント 過去問題の解答・解説 |
| | 20 | 国家試験対策 | 過去問題プリント 過去問題の解答・解説 |
| 履修上の留意点 | | | |
| 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。 | | | |

授業計画(シラバス)

| 科目名 | 化粧品化学 | 指導担当者名 | ①渡辺 拓哉 ②田口 涼太 |
|---------------------------------|--|---|---------------------------------------|
| 実務経験 | ①美容師実務経験9年 ②美容師実務経験9年 | | 実務経験: ①有 ②有 |
| 開講時期 | 後期 | 対象学科学年 | ヘアメイク研究学科1年 |
| 授業方法 | 講義: ○ | 演習: | 実習: 実技: |
| 時間数(後期) | 20時間 | 週時間数 | 1時間 |
| 学習到達目標 | 国家試験の科目でもあるので、国家試験合格を目指し学習する。 美容師になる上で道具の知識・技術の理論を習得する。 | | |
| 評価方法 評価基準 | 出席状況、授業態度、提出物、期末テスト等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。 | | |
| 使用教材 | 公益財団法人 日本理容美容教育センター「化粧品化学」 | | |
| 授業外学習 の方法 | テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。 | | |
| 学期 | ターム | 項目 | 内容・準備資料等 |
| 授業 計画 後 期 | 1 | ②ヘアリンス剤 ③ヘアトリートメント剤 | リンス、トリートメント剤のはたらきと成分について等 |
| | 2 | 2節 スタyling剤 ①styling剤の機能 ②油性styling剤 | styling剤の分類、油性styling剤の種類等 |
| | 3 | ③液状styling剤 ④高分子物質を基剤とするstyling剤 | 液状styling剤、 高分子物質を基剤とするstyling剤の種類 |
| | 4 | 3節 パーマ剤 ①パーマの原理 ②パーマ剤の分類 | パーマの仕組み、パーマ剤の分類と特徴について等 |
| | 5 | ③パーマ剤第1剤 ④パーマ剤第2剤 ⑤パーマ剤の使用上の注意 | パーマ1剤、2剤の成分と特徴について等 |
| | 6 | 4節 ヘアカラー製品 ①ヘアカラー製品の種類と染毛メカニズム | ヘアカラーの染毛の仕組みと分類と特徴について等 |
| | 7 | ②一時染毛料 ③半永久染毛料 ④脱色・脱染剤 | 薬剤についての違い、それぞれの特徴等 |
| | 8 | ⑤永久染毛剤 ⑥ヘアカラー製品の使用上の注意 ⑦その他のヘアカラー製品 | 永久染毛剤の配合成分や特徴、注意点など等 |
| | 9 | 5節 育毛剤 ①脱毛の原因 ②育毛剤の種類と機能 ③育毛・養毛剤の原料 | 育毛剤の種類と有効成分・脱毛の種類等 |
| | 10 | 期末テスト対策 練習問題 | プリント準備 |
| | 11 | 期末テスト | |
| | 12 | 国家試験対策 | 過去問題プリント 過去問題の解答・解説 |
| | 13 | 国家試験対策 | 過去問題プリント 過去問題の解答・解説 |
| | 14 | 国家試験対策 | 過去問題プリント 過去問題の解答・解説 |
| | 15 | 国家試験対策 | 過去問題プリント 過去問題の解答・解説 |
| | 16 | 国家試験対策 | 過去問題プリント 過去問題の解答・解説 |
| | 17 | 国家試験対策 | 過去問題プリント 過去問題の解答・解説 |
| | 18 | 国家試験対策 | 過去問題プリント 過去問題の解答・解説 |
| | 19 | 国家試験対策 | 過去問題プリント 過去問題の解答・解説 |
| | 20 | 国家試験対策 | 過去問題プリント 過去問題の解答・解説 |
| 履修上の留意点 | | | |
| 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。 | | | |

授業計画(シラバス)

| 科目名 | 文化論 | 指導担当者名 | ①田口 涼太 ②渡辺 拓哉 |
|---------------------------------|--|---------------------|-----------------------|
| 実務経験 | ①美容師実務経験9年 ②美容師実務経験9年 | | 実務経験: ①有 ②有 |
| 開講時期 | 後期 | 対象学科学年 | ヘアメイク研究学科1年 |
| 授業方法 | 講義:○ | 演習: | 実習: 実技: |
| 時間数(後期) | 20時間 | 週時間数 | 1時間 |
| 学習到達目標 | 国家試験の科目でもあるので、国家試験合格を目指し学習する。 美容師になる上で道具の知識・技術の理論を習得する。 | | |
| 評価方法 評価基準 | 出席状況、授業態度、提出物、期末テスト等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。 | | |
| 使用教材 | 公益財団法人 日本理容美容教育センター「文化論」 | | |
| 授業外学習 の方法 | テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。 | | |
| 学期 | ターム | 項目 | 内容・準備資料等 |
| 授業計画 後期 | 1 | 第13節 現代Ⅳ | 1970年代の髪型、化粧、服装 |
| | 2 | 第14節 現代Ⅴ | 1970年代の髪型、化粧、服装 |
| | 3 | 第14節 現代Ⅴ | 1970年代の髪型、化粧、服装 |
| | 4 | 第15節 現代Ⅵ | 1980年代の髪型、化粧、服装 |
| | 5 | 第15節 現代Ⅵ | 1980年代の髪型、化粧、服装 |
| | 6 | 第16節 現代Ⅶ | 1990年代～2010年の髪型、化粧、服装 |
| | 7 | 第16節 現代Ⅶ | 1990年代～2010年の髪型、化粧、服装 |
| | 8 | 第5章 礼装の種類 第1節 和装の礼装 | 花嫁の礼装、女性の礼装等 |
| | 9 | 第5章 礼装の種類 第1節 和装の礼装 | 花嫁の礼装、女性の礼装等 |
| | 10 | 期末テスト対策 練習問題 | プリント準備 |
| | 11 | 期末テスト | |
| | 12 | 国家試験対策 | 過去問題プリント 過去問題の解答・解説 |
| | 13 | 国家試験対策 | 過去問題プリント 過去問題の解答・解説 |
| | 14 | 国家試験対策 | 過去問題プリント 過去問題の解答・解説 |
| | 15 | 国家試験対策 | 過去問題プリント 過去問題の解答・解説 |
| | 16 | 国家試験対策 | 過去問題プリント 過去問題の解答・解説 |
| | 17 | 国家試験対策 | 過去問題プリント 過去問題の解答・解説 |
| | 18 | 国家試験対策 | 過去問題プリント 過去問題の解答・解説 |
| | 19 | 国家試験対策 | 過去問題プリント 過去問題の解答・解説 |
| | 20 | 国家試験対策 | 過去問題プリント 過去問題の解答・解説 |
| 履修上の留意点 | | | |
| 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。 | | | |

授業計画(シラバス)

| 科目名 | 関係法規・制度 | 指導担当者名 | 江川 空 |
|---------------------------------|--|---------------------|-----------------------|
| 実務経験 | | | 実務経験: 無 |
| 開講時期 | 後期 | 対象学科学年 | ヘアメイク研究学科1年 |
| 授業方法 | 講義:○ | 演習: | 実習: 実技: |
| 時間数(後期) | 20時間 | 週時間数 | 1時間 |
| 学習到達目標 | 国家試験の科目でもあるので、国家試験合格を目指し学習する。 美容師になる上で道具の知識・技術の理論を習得する。 | | |
| 評価方法 評価基準 | 出席状況、授業態度、提出物、期末テスト等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。 | | |
| 使用教材 | 公益財団法人 日本理容美容教育センター 「関係法規・制度」 | | |
| 授業外学習 の方法 | テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。 | | |
| 学期 | ターム | 項目 | 内容・準備資料等 |
| 授業 計画 後 期 | 1 | 第13節 現代Ⅳ | 1970年代の髪型、化粧、服装 |
| | 2 | 第14節 現代Ⅴ | 1970年代の髪型、化粧、服装 |
| | 3 | 第14節 現代Ⅴ | 1970年代の髪型、化粧、服装 |
| | 4 | 第15節 現代Ⅵ | 1980年代の髪型、化粧、服装 |
| | 5 | 第15節 現代Ⅵ | 1980年代の髪型、化粧、服装 |
| | 6 | 第16節 現代Ⅶ | 1990年代～2010年の髪型、化粧、服装 |
| | 7 | 第16節 現代Ⅶ | 1990年代～2010年の髪型、化粧、服装 |
| | 8 | 第5章 礼装の種類 第1節 和装の礼装 | 花嫁の礼装、女性の礼装等 |
| | 9 | 第5章 礼装の種類 第1節 和装の礼装 | 花嫁の礼装、女性の礼装等 |
| | 10 | 期末テスト対策 練習問題 | プリント準備 |
| | 11 | 期末テスト | |
| | 12 | 国家試験対策 | 過去問題プリント 過去問題の解答・解説 |
| | 13 | 国家試験対策 | 過去問題プリント 過去問題の解答・解説 |
| | 14 | 国家試験対策 | 過去問題プリント 過去問題の解答・解説 |
| | 15 | 国家試験対策 | 過去問題プリント 過去問題の解答・解説 |
| | 16 | 国家試験対策 | 過去問題プリント 過去問題の解答・解説 |
| | 17 | 国家試験対策 | 過去問題プリント 過去問題の解答・解説 |
| | 18 | 国家試験対策 | 過去問題プリント 過去問題の解答・解説 |
| | 19 | 国家試験対策 | 過去問題プリント 過去問題の解答・解説 |
| | 20 | 国家試験対策 | 過去問題プリント 過去問題の解答・解説 |
| 履修上の留意点 | | | |
| 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。 | | | |

授業計画(シラバス)

| 科目名 | 運営管理 | 指導担当者名 | ①降矢 直美 ②柳橋 南 |
|---------------------------------|--|-----------------------------------|--|
| 実務経験 | ①美容師実務経験8年 ②美容師実務経験12年 | | 実務経験: ①有 ②有 |
| 開講時期 | 後期 | 対象学科学年 | ヘアメイク研究学科1年 |
| 授業方法 | 講義:○ | 演習: | 実習: 実技: |
| 時間数(後期) | 20時間 | 週時間数 | 1時間 |
| 学習到達目標 | 国家試験の科目でもあるので、国家試験合格を目指し学習する。 美容師になる上で道具の知識・技術の理論を習得する。 | | |
| 評価方法 評価基準 | 出席状況、授業態度、提出物、期末テスト等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。 | | |
| 使用教材 | 公益財団法人 日本理容美容教育センター「運営管理」 | | |
| 授業外学習 の方法 | テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。 | | |
| 学期 | ターム | 項目 | 内容・準備資料等 |
| 授業 計画 後 期 | 1 | 第1章 経営とは・経営者とは 第1節 経営が必要とされる理由 | ①経営とは何か ②経営最大のテーマ:継続企業の原則 |
| | 2 | 第2節 継続が難しい理由 =経営が必要な理由 | ①変化 ②競争 ③経営の必要性 |
| | 3 | 第3節 経営とは何か 第4節 経営資源と経営計画 | ①経営の目的 ②経営の成果 ③経営資源 ④経営計画 |
| | 4 | 第5節 経営戦略 第6節 経営戦略が目指すもの | ①経営戦略とは ②経営戦略の視点 ③経営者の視点 ④よい店をどう実現するか ⑤クオリティの実現 |
| | 5 | 第2章 理容業・美容業の経営について 第1節 業界の概要 | ①理容・美容業界の現状 ②今日の理容店・美容店 |
| | 6 | 第2節 競争の変化 第3節 サービスとしての理容・美容 | ①競争 ②競争の方向性の変化 ③サービスは経験の提供 ④顧客が決めるサービス ⑤サービスを実現するもの |
| | 7 | 第4節 理容業・美容業の顧客について | ①顧客が来るのは当たり前ではない ②理容・美容の顧客の特徴 |
| | 8 | 第3章 資金の管理 第1節 資金管理の重要性 | ①資金管理とは ②会計の活用 |
| | 9 | 第2節 収支と損益 第3節 会計の考え方 | ①収支と損益とは ②収支と損益が異なる例 ③会計について等 |
| | 10 | 期末テスト対策 練習問題 | プリント準備 |
| | 11 | 期末テスト | |
| | 12 | 国家試験対策 | 過去問題プリント 過去問題の解答・解説 |
| | 13 | 国家試験対策 | 過去問題プリント 過去問題の解答・解説 |
| | 14 | 国家試験対策 | 過去問題プリント 過去問題の解答・解説 |
| | 15 | 国家試験対策 | 過去問題プリント 過去問題の解答・解説 |
| | 16 | 国家試験対策 | 過去問題プリント 過去問題の解答・解説 |
| | 17 | 国家試験対策 | 過去問題プリント 過去問題の解答・解説 |
| | 18 | 国家試験対策 | 過去問題プリント 過去問題の解答・解説 |
| | 19 | 国家試験対策 | 過去問題プリント 過去問題の解答・解説 |
| | 20 | 国家試験対策 | 過去問題プリント 過去問題の解答・解説 |
| 履修上の留意点 | | | |
| 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。 | | | |

授業計画(シラバス)

| 科目名 | 美容概論 | 指導担当者名 | ①降矢 直美 ②渡辺 拓哉 |
|---------------------------------|---|--------------------|---------------|
| 実務経験 | ①美容師実務経験8年 ②美容師実務経験9年 | | 実務経験: ①有 ②有 |
| 開講時期 | 後期 | 対象学科学年 | ヘアメイク研究学科1年 |
| 授業方法 | 講義: | 演習:○ | 実習: 実技: |
| 時間数(後期) | 150時間 | 週時間数 | 6時間 |
| 学習到達目標 | 国家試験の科目でもあるので、国家試験合格を目指し学習する。 美容師になる上で必要な技術・衛生面の知識を習得する。 | | |
| 評価方法 評価基準 | 出席状況、授業態度、提出物、期末テスト等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。 | | |
| 使用教材 | 公益財団法人 日本理容美容教育センター 教科書 | | |
| 授業外学習 の方法 | 授業外での自主練習。 | | |
| 学期 | ターム | 項目 | 内容・準備資料等 |
| 授業 計画 後 期 | 1 | 国家試験筆記試験対策 美容技術理論① | テキスト、過去問、プリント |
| | 2 | 国家試験筆記試験対策 美容技術理論② | テキスト、過去問、プリント |
| | 3 | 国家試験筆記試験対策 美容技術理論③ | テキスト、過去問、プリント |
| | 4 | 国家試験筆記試験対策 衛生管理① | テキスト、過去問、プリント |
| | 5 | 国家試験筆記試験対策 衛生管理② | テキスト、過去問、プリント |
| | 6 | 国家試験筆記試験対策 衛生管理③ | テキスト、過去問、プリント |
| | 7 | 国家試験筆記試験対策 保健① | テキスト、過去問、プリント |
| | 8 | 国家試験筆記試験対策 保健② | テキスト、過去問、プリント |
| | 9 | 国家試験筆記試験対策 保健③ | テキスト、過去問、プリント |
| | 10 | 国家試験筆記試験対策 関係法規① | テキスト、過去問、プリント |
| | 11 | 国家試験筆記試験対策 関係法規② | テキスト、過去問、プリント |
| | 12 | 国家試験筆記試験対策 化粧品化学① | テキスト、過去問、プリント |
| | 13 | 国家試験筆記試験対策 化粧品化学② | テキスト、過去問、プリント |
| | 14 | 国家試験筆記試験対策 文化論① | テキスト、過去問、プリント |
| | 15 | 国家試験筆記試験対策 文化論② | テキスト、過去問、プリント |
| | 16 | 国家試験筆記試験対策 運営管理① | テキスト、過去問、プリント |
| | 17 | 国家試験筆記試験対策 運営管理② | テキスト、過去問、プリント |
| | 18 | 筆記試験 模擬試験① | オリジナル問題 |
| | 19 | 筆記試験 模擬試験② | オリジナル問題 |
| | 20 | 筆記試験 模擬試験③ | オリジナル問題 |
| 履修上の留意点 | | | |
| 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。 | | | |

授業計画(シラバス)

| | | | | | |
|---------------------------------|--|-----------|-----------------------------|-------|---|
| 科目名 | 企業実習 | | 指導担当者名 | 企業指導者 | |
| 実務経験 | 実習企業指導者 | | | 実務経験: | 無 |
| 開講時期 | 通年 | 対象学科学年 | ヘアメイク研究学科1年 | | |
| 授業方法 | 講義: | 演習: | 実習:○ | 実技: | |
| 時間数(通年) | 60時間 | | 週時間数 | 30時間 | |
| 学習到達目標 | 実践授業の一環として、目指す業界の仕事に触れることでマナーや仕事内容を理解する。 | | | | |
| 評価方法 評価基準 | 実習態度や実習対応力を中心に、基礎的知識等を判断していただき、評価表を提出する。 | | | | |
| 使用教材 | 企業毎に違う。 | | | | |
| 授業外学習 の方法 | 事前に実習先企業を調べ予習をする。当日行った業務内容を復習する。 | | | | |
| 学期 | ターム | 項目 | 内容・準備資料等 | | |
| 授業計画 通年 | 1 | 企業実習 | 企業毎の接客マナーや電話対応、基礎的なルーティンワーク | | |
| | 2 | 企業実習 | 企業毎の接客マナーや電話対応、基礎的なルーティンワーク | | |
| | 3 | 企業実習 | 企業毎の接客マナーや電話対応、基礎的なルーティンワーク | | |
| | 4 | 企業実習 | 企業毎の接客マナーや電話対応、基礎的なルーティンワーク | | |
| | 5 | 企業実習 | 企業毎の接客マナーや電話対応、基礎的なルーティンワーク | | |
| | 6 | 企業実習 | 企業毎の接客マナーや電話対応、基礎的なルーティンワーク | | |
| | 7 | 企業実習 | 企業毎の接客マナーや電話対応、基礎的なルーティンワーク | | |
| | 8 | 企業実習 | 企業毎の接客マナーや電話対応、基礎的なルーティンワーク | | |
| | 9 | 企業実習 | 企業毎の接客マナーや電話対応、基礎的なルーティンワーク | | |
| | 10 | 企業実習 | 企業毎の接客マナーや電話対応、基礎的なルーティンワーク | | |
| | 11 | 企業実習 | 企業毎の接客マナーや電話対応、基礎的なルーティンワーク | | |
| | 12 | 企業実習 | 企業毎の接客マナーや電話対応、基礎的なルーティンワーク | | |
| | 13 | 企業実習 | 企業毎の接客マナーや電話対応、基礎的なルーティンワーク | | |
| | 14 | 企業実習 | 企業毎の接客マナーや電話対応、基礎的なルーティンワーク | | |
| | 15 | 企業実習 | 企業毎の接客マナーや電話対応、基礎的なルーティンワーク | | |
| 履修上の留意点 | | | | | |
| 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。 | | | | | |